

# 糸

きずな

## 図書館ボランティアだより

第35号

2019年11月 阪南市立図書館フレンズ広報部会発行

### 目次

自由*空間	せんなん里海公園のリンゴツバキ	… P2
ご存知ですか	図書整備部会の紹介	… P2
私のおすすめ児童書	『ふたりはともだち』	… P3
私のおすすめ児童書	『おまえ うまそうだな』	… P3
図書館からのお知らせ		… P4

### 阪南市立図書館 開館30周年を迎えて

阪南市立図書館 館長 加藤 靖子

令和元年十一月三日、図書館は開館三十周年を迎えます。平成元年からの三十年、長いようですが、私にとってはあっという間に感じます。

アメリカと日本では桁違い。そんな中でも十周年を迎えます。平成元年からの三十年、長いようですが、私にとってはあっという間に感じます。

私は、子どもの頃から本が好きで、高校生の頃に図書館司書という「本と人をつなぐ仕事」があることを知りました。そして、「司書資格が取れる大学に進学し、某市の司書採用試験を受けましたが、あっさり落ちてしまったことで一念発起して、図書館先進国のアメリカに留学して、図書館学を学ぶことにしたのです。

大学卒業後、一年間は留学資金をためるために書店で働き、アメリカ中西部のインディアナ大学大学院で図書館情報学を学びました。私が専攻したのは公共図書館分野の児童図書館サービスでした。絵本の選び方に始まり、おはなし会のプログラムの組み方、ブックリストの作り方、加えて全員必修の分類法や目録、図書館経営等、みっちりの勉強した二年間でした。平成元年六月に帰国し、数力所に

願書を出しましたが、最初に内定をいただいたのが阪南町で、十一月に開館予定の図書館準備室に着任しました。

ゼロからの図書館づくりは試行錯誤の連続で、夢中の日々でした。アメリカで学んだあんなサービス、こんなサービスをしたい、と思っても、職員数や予算が

市民の「知りたい」「学びたい」にこたえるという図書館の基本は変わりません。ただし、図書館はもっと時代に合わせて変わらなければならぬのでは、という思いもあります。職員だけで考えていても限界があることから、今年度「総務省地域情報化アドバイザー派遣制度」により、岡本真（おかも）とまこと（氏）を招いて、市民ワークショップを十二月八日（日）午後開催することにしました。

日本全国で三十を超える図書館のプロデュースを行ってきた岡本氏のアドバイスを受けつつ、よりよい図書館に進化するためには何が必要か、どうぞ皆様のお知恵を貸していただろう。

ワークショップ詳細は広報はなんに月号を

## せんなん里海公園のリンゴツバキ

せんなん里海公園に植栽されたリンゴツバキ(屋久島椿)が何本もあります。その木の数本にヤドリギが寄生しているのを最近になって気が付きました。葉は退化して茎だけが、ツバキの枝に束生しています。茎の形がヒノキの葉に似ているところから「ヒノキバヤドリギ」と言われているものです。里海公園では落葉広葉樹のエノキに寄生しているヤドリギの存在は以前から知っていましたが、ヒノキバヤドリギはツバキ、ネズミモチ、ソヨゴなどの常緑広葉樹に寄生するヤドリギです。

ところで、このヤドリギの宿主になっているリンゴツバキはツバキシギゾウムシとの「軍拡競争」で知られています。リンゴツバキの実はやぶツバキに比べ一・五倍程の大きさですが、中の種子の大きさは変わりません。それだけ果皮が分厚くできていま

す。ゾウムシは長い口吻を使ってリンゴツバキの分厚い果皮に穴を開け、そこに産卵管を挿入して種子に卵を産み付けます。孵化した幼虫は若い種子を食べ成長します。種子を食べられては子孫を残せないツバキはシギゾウムシの産卵を防ぐため、口吻が届かないよう果皮をより分厚くします。シギゾウムシは、負けてなるものかと!!口吻をさらに長くするように進化します。子孫繁栄をかけた軍拡競争の始まりです。

植物と昆虫の共生関係はイヌビワとイヌビワコバチが良く知られています。この両者はお互いに相手がいないければ、子孫を残すことができない絶対共生の関係です。自然界ではこのような共生関係によって、また、ツバキとシギゾウムシのように、一対一の真剣勝負!!お互いがしのぎを削った競争の結果として、お互いが進化を遂げ、共に生き残っていくのです。

里海公園でもツバキシギゾウムシが見つかるかもしれませんね。

黒田 治平



《ご存知ですか》 図書館フレンズ 図書館整備部会の紹介 伊藤 郁夫

私達図書館整備部会は、書籍の修理担当と除籍本のリサイクル処理担当の2グループで構成されています。それぞれの作業内容を紹介します。修理作業の在籍者数は20名です。書籍の表紙を洗剤拭き、本拭き、乾拭きで汚れを取る清拭。音飛びのあるCDの磨き、CDケースの修理、本の背割れ予防の三つ目綴じ、一番多いのはページが破れたり外れている本の修理です。特殊な修理では背割れ、表紙はずれ、綴じ

糸の緩みやキシレの修理、表紙カバー保護のためフィルムを巻く装備もあります。

リサイクル処理は、図書館で除籍処理された書籍に、「リサイクル本」のゴム印を押印し、次に表紙のバーコードのうえから、「リサイクル本」のシールを貼ります。昨年度は毎月1回の作業で約5,300冊の書籍を処理しました。リサイクル担当は5名です。少数ですので皆様のご参加をお待ちしております。

## 《児童書》 『ふたりはともだち』

アノルト・ローベル 作 三木 卓 訳 文化出版局

K933/ロベ・E

### 私のおもちゃ

アメリカの絵本作家アノルト・ローベルによる「Frog and Toad (がまくんとかえるくん)」シリーズ全四作の一作目である。一九七〇年に発行され、ロングセラー。ローベルはアメリカ児童図書館協会がもっとも優れた絵本作家に贈る「コールデコット賞」を受賞している。本編は五話構成となっている。本書の「おてがみ」は小学校の教科書にも採用され、記憶に残っている方も多いのではないだろうか。

作者は小学生時代、病気で学校を休んでいたとき、絵を描きはじめた。がまくんとかえるくんは作者の二つの側面を表していると考えられている。

服を着て、二足歩行する茶色のがまくんと緑色のかえるくんが登場する。がまくんの家で、また、くさはらや森や川で、二匹の力エルを中心として話がすすんでいく。

「はるがきた」では、がまくんは、春がきたというのにまだ冬眠中で、かえるくんが無理やり起こしても、くたびれているからもっと寝るといってまた眠っ



『ふたりはともだち』より

てしまう。かえるくんはさびしいから、がまくんをある方法で起こすことに成功する。

「なくしたボタン」では、二匹がとくに出かけて家に帰ってきたら、がまくんが上着のボタンをなくしてしまい、再び通ってきたところを探しに行く。ボタンはどこにあったのか。

題名のとおり二匹(人)は「ともだち」なのだ。がまくんとかえるくんは見た目も性格も違うし、がまくんはかえるくんを助けてもらってばかりに思えるが、がまくんはわかっているのである。友情というものは互いに支えあい、助けあうことだということを。

本書の内容はわかりやすく、幼児でも自分で読める一冊である。図書館の英語多読コーナーには原書もあるのでぜひ見てほしい。

菅谷 早織

## 《児童書》 『おまえ うまそうだな』 作・絵 宮西 達也 ポプラ社 E

初めての出会いは、恐竜が大好きな息子が手に取った時でした。タイトルや表紙の絵から、大迫力の恐竜の世界が繰り広げられるのかと思いきや、とても心優しく思いやりのある内容に驚かされました。

お話は昔の恐竜の世界で、登場人物も恐竜たち。肉食恐竜ティラノサウルスが、卵から生まれたアンキロサウルスの赤ちゃんに遭遇し、威嚇しながら「おまえうまそうだな」と食べようとします。すると、赤ちゃんに「おとうさん！」と言われ、戸惑いながらも何日

も何日も一緒に過ごします。最後には、別れが待っていますが、ちょっぴり切なくて思わずウルツとする展開に双方の愛を感じます。

この恐竜シリーズは、他にも『あなたをずっとずっとあいしている』『キラキラとほしがかがやきました』等、多数出版されています。どれも、笑いの中に人情・愛情・友情のあるストーリーで弱肉強食の恐竜の固定観念にとらわれず、「情」に引き込まれていく作品だと思います。

増田 由果

2019年  
11月

## 阪南市立図書館は 開館30周年を迎えました

平成元年11月3日、阪南町立図書館として、オープンしました。初期の様子をご紹介します。



11月3日は開館記念式典と、館内見学会があり、図書の貸出は4日から行われました。4日の貸出者1352人、貸出冊数4400冊で、返却は25冊という記録が残っています。

オープン直前の館内。約7万冊の蔵書でスタートしました。たくさん本が並んでいるように見えますが、実はこの写真を撮るために、寄せ集め、見えていないところは空っぽ…

貸出は1人5冊まででした。平成5年には7冊に増え、13年からはCDの貸出を開始、16年から、冊数制限がなくなりました。貸出期間は今も昔も変わらず2週間です。



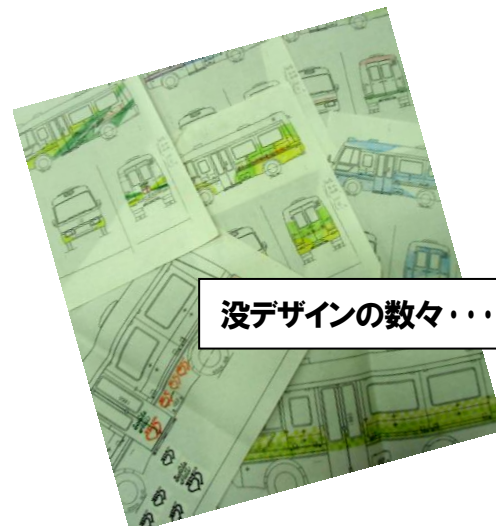
1991年職員一同

## 覚えていますか？初代ふれあい号（運行期間：平成2年3月～平成11年1月）



職員でデザインを考えましたが、絵が苦手で、こんな模様になりました。

白いボディに、黄色と緑の市松模様がついた、初代ふれあい号。26人乗りマイクロバスを改造した車に、2500冊ほどの本を載せ、市内19か所を回りました。桑畑や波太神社にもステーションがあったんですよ。



没デザインの数々…